



文化センター自主事業「雪の女王」（少年劇場）

件（一万三千余人）三階展示室が十八件（七万三千余人）で前年比の件数は増えているが入場者は二万人程度の減少をみている。会館設備は大ホールに続き小ホールの音響設備の改善がなされ利用者のあらゆる要望に応える音づくりが可能となっている。

## 県立文化施設の整備

### 一 工事等進捗概要

文化施設整備室（課内室）も、発足以来五年にして、職員数が室長以下二

表7 昭和58年度 福島県文化センター事業

事業名	実施期間	場所	参加入場人員
<b>・文化会館</b>			
<b>—自主事業—</b>			
(1)文化庁移動芸術祭巡回公演 ミュージカル「アプローズ」	9. 20	県文化センター	1,717
(2)交響楽のひとつ「新日本 フィルハーモニー交響楽団」	11. 13	県文化センター	1,918
(3)少年劇場	6. 6～6. 22	福島市ほか9市3町1村	20,735
(4)親子劇場	10. 16	県文化センター	3,071
(5)福島県バレエフェスティバル	5. 1	いわき平市民会館	1,800
(6)福島県吹奏楽 トップコンサート	6. 26	〃	1,000
(7)福島県三曲演奏会	5. 29	県文化センター	1,000
(8)文学講演会 古典文学 近代文学	10. 15	原町市	180
(9)文化講座放送利用（郷土史） （文学・東洋文学・法学）	2月中旬	県文化センター	未実施
(10)映画会 一般向 夏休み小供	7. 23～8. 7 年間	会津若松市文化福祉 センター	150 会員(114)
(11)地域文化振興協力事業 —委託事業—	5月及び 8月～9月	天栄村外24町村	実施中 1,498 実施中
(12)家庭劇場 ・美術博物館 —自主事業—	7. 2～7. 17	県文化センター	7,101
(1)スイスプチ・パレ美術館 フランス近代絵画その愛と輝 き展	9. 24～10. 2	〃	7,065
(2)院展福島展	11. 24～12. 4	〃	2,500
(3)一水会展福島展 —委託事業—	上期4. 1～4. 30 下期12. 17～ 3. 17	〃	上期 422 下期
(4)福島県収蔵美術展 —共催事業—	6. 11～6. 22	〃	16,000
(5)福島県総合美術展 ・歴史資料館 —自主事業—	10. 12～ 12. 10	〃	実施中
(1)地方史研究と明治期地籍丈量 図展	11. 25～26	〃	実施中
(2)地方史研究講習会	7. 22～23	小野町公民館・梁川町	146
(3)古文書研究講習会 —委託事業—	7. 2～9. 11	県文化センター	3,325
(4)歴史資料館収蔵資料展	年間		
(5)発掘調査 （母畑・会津農水・真野ダム）	年間		
(6)分布調査 （母畑・矢吹・福島空港・ 国道113号バイパス・相馬開 発）	年間		

十六名（営繕課併任職員五名を含む）となり、オープンをめざして仕事に励んでいる。一方、工事は順調に進んで十月未現在で、美術館九〇％、図書館八〇％の進捗を見ており、計画どおり施工されている。また、建物と同様、施設内部で直接県民と係りのある調度備品についても約四〇％が発注され

### 二 県立美術館

現在、美術品や二次資料の収集をは

た。新施設の三番目として準備作業を行なっている博物館は、昨年基本設計を完了していることに伴ない、本年度はすでに、建築、展示とも実施設計が進められている。

はじめ、保存、展示、美術に関する調査研究、教育普及計画、管理運営の検討等、美術館の基本事業を中心に開設準備を進めており、とりわけ郷土作家や県にゆかりのある作家や作品は、収集展示に直接かわりのあるものであり関係者のご好意とお協力をいただきながら、学芸活動の重点として行なわれ